

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2017年
12月

148号



宗教法人 真生会

平成二十九年信仰目標

衆善奉行
しゅうぜんぎょう

(たくさん善いことをする)

徳の器を大きくする

真生会の教えとは！

仏さまの智慧と

仏さまのものの見方を身に付け

自分の運命を変える

在家の法華経教団です。

宗旨宗派は問いません。

どなたでも安心してお越し下さい。

◇どの家庭も毎日が楽しく

ぬくもりと安心のある家庭になる

◇だれでも毎日がイキイキとし

ありのままに輝く自分になれる

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るいい心：（きっとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（人みな仏の子）

開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁
たなか ひでひと

どんな動物も鏡を持っていない。人間だけが鏡を持っている。

鏡は本当の自分の顔を教えてくれる。人生の鏡こそ、神仏の教えであり宗教である。宗教、即ち信仰心を持つ人と持たない人はどこが違うか。いったん非常時が起きた時の考え、心の在り方に大きな差が生まれ、次に来る自分の運命を左右するものである。

信仰心ある人は、常に自分の心を教えの鏡に照らすから、我流に走れる愚かな行動、煩惱に負ける己の弱さ、慢心の自分の未熟さがわかるので、懺悔し感謝の生活をしようとして精進を重ねるから、自然と血行もよくなり健康が保たれ、年以上に心は若々しく活動的となるのである。

笑顔は人間生活になくはならぬ宝であり、魅力である。信仰の深さによって、笑顔はにじみ出るのである。(真実に生きる80号より)

ぶし眞教法話

会長 田中 庸仁
たなか つねひと

◇学歴と基礎力（生活力）のバランス

旅館業を営む会員さんからのお話です。

「先日、某有名国立大学の学生さんが、あるイベントのスタッフとして大勢宿泊されました。終わって引き上げられる時たくさんの機材や段ボール箱やゴミ袋をトラックで搬出する様子を見ておりますと、段ボール箱を壊してたためば一度にたくさん運べるのに何も詰め込まず空箱のまま積み込みますからたくさん積みません。何度も運び出し一事が万重要領が悪いので、見ていてイライラしました。そのうちに、お貸ししていた倉庫のドアが開かないから開けて欲しいと言いに見えました。カギは開けてあるので開かないはずはありません。ドアノブが古くなっているので少し固くはなっていますが、ちよつと力を入れて回しながら引けば簡単に開きました。思わず『大抵の扉は、ドアノブをこうやって回しながら押すか引けば開くんです』と言いますと、三人の現役の男子大学生がキョトンとしています。呆れるやら腹が立つやら、先生どう考えたら

いいのでしょうか」とまるで漫画のような笑い話のような話です。

難しい学問はできても、簡単な工夫や機転が利かないのは、余りにも日常生活の経験、実学が足りないのです。だから就職してちよつと厳しいことを言われたり、面倒な仕事を与えられるとすぐに辞めたり、精神的にダウンしてしまうのです。建物に例えれば、高学歴という立派な高層建築になればなるほど基礎の土台がしつかりしていないと地盤沈下を起こすかバランスが崩れて傾き始めます。大学卒という学問に経験という実学が伴ったら、鬼に金棒です。

◇家庭での手伝いが基礎力

今は高校生の半分以上が大学に行く時代になり、学問や知識はありますが、日常生活の常識や当たり前のことが出来ないのは、子供の頃から家の手伝いがさせてありませんから、生活していく知恵と粘り強さがないのです。工夫する力や忍耐力という基礎力が不足している若者が多いのです。

平素から家事手伝いをしてもらい忍耐力と工夫ができ機転の利く子供に育て、就職したら家に生活費を入れる徳積みをさせ、肉体的、精神的、経済的体力を身に着けさせることが親の大切な役目です。いよいよ年末年始を迎えます。

塾通いや勉強だけをさせるのではなく、大掃除やお正月の準備、冬タイヤの交換など、親と一緒に見本を示しながら大いに実学を身に付けさせる時です。学生時代独身時代に生活力という基礎が身に付いていないと、就職してから上司やお局つぼねさんに鍛えられるか、結婚してから姑しゅうとや小姑こしゅうとから鍛えられるのです。

人生のどこかで、女中か小僧の修行をしてこそ立派な奥様・旦那様になり、立派な社会人となり、幸せな家庭が築けるのです。

◇便利さの落とし穴、スマホの功罪

しかし、昨今は教えなくてはいけない親も、学ばなくてはいけない子供もスマホのゲームやインターネットとりこの虜とりことなり、家庭での会話や触れ合いが希薄になっていきます。スマホやパソコンはどんなことでも調べられ、あらゆる情報が得られ、世界中の誰とでも一瞬のうちに繋がる大変便利なツールですが使い方を間違えると、便利さの裏側に大きな落とし穴が待ち受けています。

今世間を騒がせている大相撲の暴行問題も、人が話をしている時、ましてや格上の先輩が話をしている時にスマホを操作していたのが引き金になったと伝えられています。どこでも見られる日常茶飯事の情景です。他人や遠くに

る人とは繋がるスマホにより、目の前にいる家族や大切な人とのつながりは切れているのです。

職場や会議の場、上司が話をしている時でも平気でスマホを操作している人もよく見受けられます。家庭においても、食事中や団らんの時も同じ部屋の隣同士に家族がいても、会話もなく各自が銘々我々好き勝手にスマホをいじっている異様な情景がどこの家庭にもあるのではないのでしょうか。家庭崩壊、意志の疎通を欠く危険信号です。

座間市で起きた女子学生や若い女性の九人連続殺人事件も、自殺願望の悩みを身近な家族や友達がいながらネットで知り合った素性の知れない犯人によって無惨にも殺害されてしまった事件を思う時、IT化された便利社会の闇を思い知らされた感があります。

折角家族が一堂に会している時にこそ、会話をしお互いの情報共有や意思の疎通を図る時なのではないでしょうか？一人である時や自分の部屋にいる時にスマホを楽しめばいいのです。親から子に伝え教えなくてはならないこと、親や目上の人から学ばなければならないことは山ほどあるはずですが、大人も子

供も家庭内疎遠になつていないでしょうか。麻薬中毒と同じようにスマホ中毒は常習性があり、知らぬうちに家庭生活や人間関係が蝕まれ行くのです。

◇生涯学びの人生

江戸時代の儒学者、佐藤一斎いっさいの言志四録げんししりくに三学戒さんがくかいという教えがあります。

少にして学べば、壮にして成なすあり。壮にして学べば、老いて衰おとろえず。老いて学べば、死して朽くちず。

若い時にしっかりと学びよく鍛えれば、壮年期に必ず何事かを為し成功する。壮年期に更によく学び心身を磨き鍛えれば、元気で生き甲斐のある老後となる。年老いても良く学び励めば死んだ後も忘れられない。

人生は死ぬまで修行です。開祖さまは「死ぬまで生きる」と最後まで手抜きをせず、精一杯生き切る見本を示され、「一服するのはあの世でよい」と喝破されました。老人となればこそ、安易に興味や旅行、カラオケやグルメだけを楽しんでいる暇はありません。人生の知恵袋としての重大な役目があります。

人間いつ目覚め、どのように鍛えるかによって人生の充実度が決まるのです。学ぶ心が衰え、自分を磨くことをやめてしまった時から、毎日ワクワクする生

き甲斐が無くなるのです。

◇すべてが仏様からのメッセージ

法華經の寿命品に「衆生の道を行じ道を行ぜざるを知って、度すべき所に随つて、為に種種に法を説く」とあります。

仏様は、人々の行いの度合いに応じて、夫々にふさわしく有用な人物に成長させるため、いろいろな現象を現わして導いて下さるのです。

年末は一年の総決算、病気や怪我や事故など困った問題に直面したり、ご褒美のような嬉しいことが起こったりしますが、出来事に右往左往、一喜一憂するのではなく、「忙中閑あり」ちよつと立ち止まり、今の自分を振り返り、仏様のどういうメッセージなのだろうか、仏さまは私をどこへ導こうとしておられるのだろうかと自分を見つめ直す年末としてみましょう。仏様の御心に気付けば、きつと希望と勇気の湧く新年が迎えられます。

初詣には、総本山真生寺、各教会に参拝し、「今年の指針・仏さまの声」の短冊を引き、一年の目標と心構えを頂き、希望ある一年を歩んで頂けることを願います。

今月の運勢（1月）

（2018年1月5日～2月4日）

一 白水星

すべてがよく見えている。最後までやる人は運が強い。任せられたことは最後まで責任もってやる。終わっても安心せず、次に進むこと。明るく振る舞い、争い事はしない。

二 黒土星

平和な毎日にも危険が潜んでいる。失敗するとダメージが大きいので、事を始める時や勝負に出る時は独断専行はしない。知恵や人望のある人に従って行動すること。

三 碧木星

何事も余裕を持って、楽しみ喜んでやる。運

気は春、次第に良くなってくる。事前に皆

の心を一致団結させ、優れたリーダーについて行えば思い通り事が運ぶ。

四 緑木星

機が熟し、いよいよチャンス到来。互いに助け合えば勢いが増し、勝負にも勝ち何事にも成功する。施し強く相手を益することが自分を益する。明るく元気な声掛けをする。

五 黄土星

風に乗って活動範囲と人脈を大いに広げる時。気分も明るく絶好調。物事を大きく進めるチャンスなので、優

柔不断にならないよう

自信をもって計画を進めること。

六 白金星

一年の始まりに際し、昨年を振り返り、まずは心身を休めること。今は大きな動きは控え、今年一年を活躍するエネルギーを蓄え、しつかり計画を立てることに集中する。

七 赤金星

いよいよ懸案の問題を解決する決断と決行の時が来た。しかし、強引に力で押し切るのではなく、十分説明して人々を納得させ、決行に当たって用意周到に行えば、思いのままに

事は運ぶ。

八 白土星

損して得取る余裕を持つこと。損はしても納得ずくで損をして、気持ちを変えず、いささかも動じない心で行えば最後は吉となる。あなたのおごりで会食など楽しい時間を持つてば運氣も上がる。

九 紫火星

変化の時を迎えている。心ならずも、今の立場を離れなければならぬ失意が訪れるかもしれない。冷静に踏み止まり、火のような明るさを失わずにいれば、意外な幸運が転がり込んでくる。

しあわせ眼鏡

大いなる放棄、捨心
深い哀しみや恨み憎しみも、
時が癒し解決してくれる。
時が経っても癒えない時は、
渴れるまで涙を流し、思いつ
きり叫び、そして一方的に赦
し、忘れ、捨てるしかない。
争いは争いによって止まらず
憎しみは憎しみによって止ま
らない。
理屈では解決できない。

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | |
|---------------------|--|
| 【総本山真生寺】 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
TEL 058 - 235 - 7304 |
| 【所沢教会】 〒 359-0037 | 所沢市くすのき台 1-9-5
TEL 04 - 2992 - 8236 |
| 【名古屋教会】 〒 454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3-10
TEL 052 - 351 - 3904 |
| 【岐阜教会】 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3-19
TEL 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
TEL 06 - 6308 - 5637 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送り
します。詳しくはお尋ねください。